

## 【取組内容①】 体育科での個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

## これまでの体育科の授業

- ・手本は授業中に見せるか別の時間に全員で教室内で見せるしかなかった。
- ・必要に応じて児童を集め、運動のコツを伝えたり、話し合わせたりしなければならなかった。
- ・児童によっては目で見ても運動のコツができていないか分からなかった。

## ICT機器を活用した授業

- ・手本を配信することでいつでも正しい動きが確認できる。
- ・動画を確認しながら本時に身に付ける技能について話し合うことができる。
- ・本時に扱う技能以外にも教師の声かけによって動画を見て、各児童の課題に沿った活動が可能になる。

## 活用が進むと・・・

- ・運動を見る目が養われてくるとタブレット型端末を使用しなくても友達の運動を見ながら互いにアドバイスができるようになる。  
（場合によっては、タブレット型端末を使用するより効率的に活動できる。また、運動時間のさらなる確保につながる）

**タブレット型端末を活用することで児童が客観的な視点で運動の技能について協働的に学ぶことができる。また、本時のねらいだけでなく、個別の課題についても主体的に学ぶことができる。**